

# HELLO MaBy CLUB

VOL. 27 2002.12



T O P I X

sato clinic

## 院長の1日

このハローマビークラブも、Vol.27にもなるとトピックスに取り上げる題材もいろいろ悩むときが出てきました。「困ったときの院長頼み」というわけで、今回は「院長の1日」を取り上げることになりました。佐藤院長の毎日ってどんなふうに過ごしているのか、興味あるようなないような……。1台のカメラがとらえたスナップで、その様子を見てみましょう。院長自らの解説付きです。



目覚まし時計は電波時計。毎朝きっかり6時3分に鳴ります。この「3分」というところにもう少し寝たいという気持ちが表れていますね。でも、当然の事ながら

(?) その時間には起きられません。あと少し、あと少しと時間は過ぎていきます。実際に起きるのは……?



愛用のコーヒーマーカーです。私は毎朝コーヒーを飲まない → と調子が出ません。

以前はミルで豆をひいてペーパードリップでコーヒーを入れていたのですが、だんだん無精になってきて、ここ数年はコーヒーマーカーを使っています。ドリップペーパーをセットし、水と豆を入れるとあとはスイッチ1つでいつの間にかコーヒーが入っている優れたものです。



いつの頃から、NHKの朝の連続ドラマを見るのが日課になってしまいました。ちょうどこの時間に分鏡が重なることもよくあるのですが、毎日あるので、1回や2回くらい見逃しても、残念と思わないのが連続ドラマの良さだと思っています。これが終わると仕事着に着替えます。

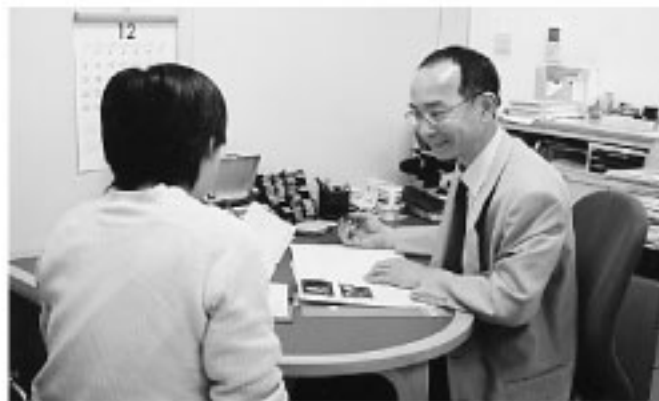


前日の夜からその日の朝間での出来事や入院中のママや赤ちゃんの状態の報告を受け、指示を出しています。このあと分鏡中の方の診察などを行っています。↓

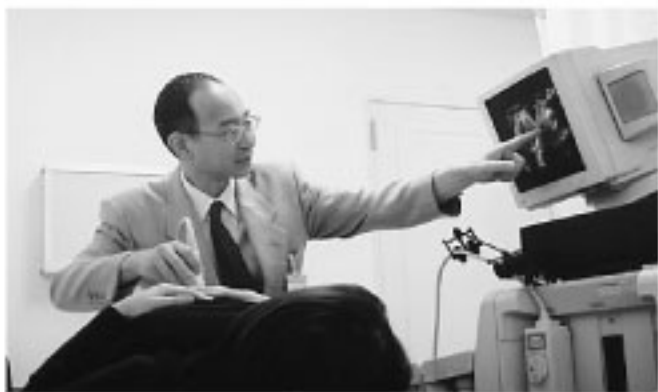




外来診察も、9時過ぎの開始と同時にエンジン全開。頭の中はフル回転、今日も体が軽い。↓



診察で特に力を入れているのが超音波検査。胎児の状態を把握するために医学的に重要な検査ですが、それと共におなかの中の見えない赤ちゃんをできるだけ具体的に見てもらいたいと思っています。この装置もとてもいい装置でしたが、もうすぐ新しい装置になります。↓



退院の時はたいていご主人も迎えに来られます。赤ちゃんも交えた3人での記念撮影。院長自らがカメラマンに変身します。できるだけいい笑顔を撮ろうと思って、いつも3回シャッター



を切ります。最初の1枚は、ほとんどの方の顔はこわばっていますが、2枚目3枚目を撮るに従って、いい笑顔になってきます。



ようやく午前の診察も終わり、ランチタイムです。この日は和食。ご飯、みそ汁、焼き魚、卵焼き等。それ以外に、野菜サラダ、ヨーグルトも食べました。



午前と午後の診察の合間に、入院中の赤ちゃん和妈妈の状態をチェックするために、入院中の方のお部屋を訪問します。



この日は夕方からの診察もあり、一般の診察の最後に子宮卵管造影検査がありました。検査も終わって、1日の緊張もほぐれ、やれやれというところ。 →



夕食後、入院証明書などの書類を記入しています。この日は特別張り切って、書類整理をしましたが、すぐに疲れてしまって、あとは、ムニャムニャ・・・。

休日のワンシーン → 去年の5月頃、オープン間もないUSJに行ったときの写真です。





## 院長から一言

最近和菓子の“ういろう”に凝っています。子どもの頃父親が所用で京都に出かけるとき、「おみやげは何がいい？」と聞かれると必ず「ういろう」と答えていました。京都の「五建ういろう」という三角形ののですが、一度に何個も食べるくらいとにかくういろうが好きでした。しかし成長するにつれて、むしろケーキなどが好物になり、いつの間にかういろうは食べなくなりました。大人になり、新幹線の車内販売で初めて名古屋のういろうのことを知りました。ふと懐かしくなって、「青〇ういろう」を食べてみると、記憶に残っているういろうの味とは全く違い、正直言ってあまりおいしく感じなかったのです。それ以来、名古屋のういろうはホントのういろうじゃないという印象を持っていました。

この9月、京都のデパートで「全国うまいものの店」というような催し物があり、その中で名古屋のういろうを売っていました。名古屋のういろうはあまりおいしくないなと思っていましたが、事情を知らない妻が何気なく買いました。帰って、一口それを食べ、「うまい！」と思わず声が出ました。お米の香りがして、もっちりして、ちょっと甘くて、記憶に残っているういろうそのものの味です。「養老軒」というお店のういろうでした。それ以来名古屋のういろうも見直そうと、「献上ういろう」や「大須ういろう」など6軒のういろうを食べ比べました。一度に何本も食べられませんので、何度も名古屋にういろうを買いに行きました。食べ比べは今も進行中ですが、やはり「養老軒」の「手作りういろう」が一番おいしいと思います。ところで山口県もういろうが名物らしいですね。今度は山口にういろうを買いに行こうっと。

## Q and A

**Q** 佐藤クリニックで出産している友達は予定日より早くに生まれてる人が多い気がします。実際はどうでしょうか。

**A** この質問をいただいたあと、急遽調べてみました。最近3ヶ月（8月、9月、10月）に佐藤クリニックで出産した方の週数の分布です。（帝王切開の方はのぞいています）

妊娠36週	= 1.7%
妊娠37週	= 6.7%
妊娠38週	= 16.7%
妊娠39週	= 33.9%
妊娠40週	= 32.2%
妊娠41週	= 8.3%
妊娠42週	= 0.6%

35週以前の方はありません。

この分布を見ると、確かに、予定日（40週0日）以前に生まれた方は59%と、過半数ですが、一般的に単胎の早産率（37週未満の出産）は約5%ですから、当院の1.7%という数字はむしろ低いと思います。

佐藤クリニックでは、妊娠期間中で内診がないのは、妊娠4ヶ月時の検診のみで、妊娠初期から分娩直前に至るまで、内診があるのが原則です。毎回内診があることが苦痛な方も多いのですが、異常の早期発見のためには内診は不可欠であるというのが、院長のポリシーです。そして、37週以前は、必ず経膈超音波検査を行っています。これは超音波検査を用いることによって早産傾向を見逃さないようにするためです。この方法で、早産傾向のある方は早期からチェックしていますので、早産率が低いのではないかと考えています。

**Q** 私の偏見かもしれませんが、佐藤クリニックは大変人気があるので一人一人の診察が短くなったりしませんか？

**A** 診察時間については、確かに短いと思います。アメリカの産婦人科医は1時間に4人の診察をするそうですが、私はその倍以上診察をしています。私自身もっとゆっくり診察したいので、結構ストレスはたまっていますが、予約制を取り入れて、以前病院に勤務していたときよりはゆったりしているの、自分で自分を慰めているのが現状です。（でもアメリカ人がうらやましい）





